
GlobalDoc5 1.01R01

リリースノート

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

2008年 4月 28日

□製品情報

=====

バージョン : Ver. 1.01R01

=== 変更内容 ===

=====

□機能拡張

=====

■Web アプリケーション

- ・ユーザー一覧画面のユーザー検索で、姓フィールドにフルネームを指定して検索できるようになりました。
- ・ユーザー一覧画面のカナ検索で、ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナを区別せずに、検索できるようになりました。
- ・ユーザー一覧画面の英字検索で、大文字・小文字を区別せずに、検索できるようになりました。
- ・文書編集画面の文書情報タブに保存先フォルダー階層が表示されるようになりました。
- ・Doc 保存文書の「個別にセキュリティ」に設定されたユーザー、グループを削除できるようになりました。
- ・セキュリティマスターを利用しない環境で、文書またはフォルダーを参照するときの表示速度を改善しました。
- ・添付ファイル参照、文書エクスポート時のメモリー使用量を削減しました。

■サーバーツール

- ・フォルダー削除ツールのパフォーマンスを改善しました。

□仕様変更

■Web アプリケーション

- ・フォルダーを移動したときに、他のユーザーが文書を更新中の場合、表示される通知メッセージにフォルダー階層、文書名、更新開始日時の情報を追加しました。
- ・URL を使用して文書や添付ファイルを参照した場合、ごみ箱内の文書や添付ファイルは参照できないように変更しました。

□不具合修正

■Web アプリケーション

- ・アクティブディレクトリ認証を利用している環境で、URL を使用してフォルダーや文書を参照すると、トップページ画面が表示される不具合を修正しました。
- ・URL を使用して参照した文書を更新する場合、「画面を閉じない」を選択し、セキュリティを上位継承させるチェックボックスを外すと、文書編集画面がリフレッシュする不具合を修正しました。
- ・文書更新画面で、更新処理中にボタンをクリックができる不具合を修正しました。
- ・セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で、文書の更新を行うと、文書セキュリティが正しく反映されない場合がある不具合を修正しました。
- ・ブックマークに登録した文書が更新されると、文書ブックマークの更新ができない不具合を修正しました。
- ・承認完了文書を更新すると、承認履歴のダウンロードに失敗する不具合を修正しました。
- ・承認完了文書の履歴をダウンロードすると、操作日時順でソートされていない場合がある不具合を修正しました。
- ・フォルダー一覧を矢印キーで移動すると、文書一覧が2回表示される不具合を修正しました。

- ・セキュリティが「上位の設定を使用」となっていない機密フォルダーを複写すると、複写先の機密セキュリティが外れる場合がある不具合を修正しました。
- ・フォルダーの移動・複写を行った場合、不要なデータが一時的に残る場合がある不具合を修正しました。
- ・複数文書の移動を行った場合、更新中の文書が存在すると、それ以降の文書が移動されない不具合を修正しました。
- ・フォルダー情報タブの文書名制限に「名称の重複・禁則文字の使用を禁止する」が設定されたフォルダーを参照した場合、参照権限しかないユーザーで参照すると「文書名の重複を禁止する」にチェックが入らない不具合を修正しました。
- ・セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で、フォルダー管理権限がないフォルダーの管理画面を参照した場合、セキュリティのチェックボックスが無効化されない場合がある不具合を修正しました。
- ・以下の条件で詳細検索を行うと、SQL エラーが発生する不具合を修正しました。
 - ・バックアップ階層を含める
 - ・OR 条件
 - ・検索条件 2 つ以上
 - ・検索条件にキーワードを含む
- ・コレクション編集画面で「条件読込」を実行すると、「更新」、「削除」のボタンが非表示となる不具合を修正しました。
- ・Doc 保存文書の文書情報タブで廃棄処理日を期日指定または日数指定した場合、指定欄の表示位置が通常文書と異なる不具合を修正しました。
- ・セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境の場合、Doc 保存文書の更新画面で、セキュリティと個別セキュリティの間に不要なスペースが表示される不具合を修正しました。
- ・Doc 保存文書の文書情報タブで個別セキュリティを削除すると、添付/本文タブに移動する不具合を修正しました。
- ・StraForm-X の帳票を使用した Doc 保存文書を複写すると、複写先の文書のレイアウトがくずれて表示される場合がある不具合を修正しました。
- ・GlobalDoc SAFER クライアントを利用し、機密文書の添付ファイルを URL から参照した場合、保存ファイル名の初期値が“文書 ID. 拡張子”とならない不具合を修正しました。

- ・機密文書管理機能に必要な ActiveX のダウンロードに失敗する場合がある不具合を修正しました。
- ・システム履歴で機密文書の履歴を出力した場合、保存先のフォルダーパスが文字化けする不具合を修正しました。
- ・WebDAV オプションを利用する場合、詳細検索から WebDAV 文書のバックアップを参照すると、最新の文書が開く不具合を修正しました。

■サーバーツール

- ・文書情報リストアツールで、WebDAV 文書のリストアに失敗する不具合を修正しました。
- ・文書情報バックアップツールで「-latest」オプションを指定した場合、ドキュメント情報が出力されない不具合を修正しました。
- ・移行ツールで、<input 属性名="属性値">タグの「=」の前後にスペースを含む帳票を移行すると、<input 属性名 "属性値">となって移行される不具合を修正しました。

=====

※GlobalDoc5 Ver. 1.00R09 以前のバージョンをご利用の場合は、データベースのバージョンアップが必要です。
データベースのバージョンアップに関しては「GlobalDoc5 導入・設定マニュアル」の「5.4.2 データベースのバージョンアップ」を参照してください。